



ベトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Viet Nam



たばこ産業の特徴

1. ベトナムのたばこ産業は国が管理している。
2. 観測筋により、ベトナムの市場規模は年間420億本～580億本とまちまちである。
3. ベトナムの主力シガレット・メーカーは、連邦政府が所有している Vietnam National Tobacco Corp (Vinataba、年間製造数量は310億本)。更に、省政府が管理する中小の工場がある。
4. 市場の57%はVinatabaが主にバージニア・ブレンドで市場を支配している。USDAによれば、ベトナム製外国ブランドのシェアは15から18%。残りは省政府等が所有する地方メーカーが製造する80以上のブランドが占めている。
5. ベトナム市場は正式には外国企業に開放されておらず、多国籍企業は Vinatabaや他の国内メーカーと提携してアンダーライセンス製造で市場に参入している。
6. BATはシェア12%で多国籍企業のトップ。2001年8月には合弁企業BAT-Vinatabaを設立し、ベトナムでの長期プレゼンスを確保している。
7. 2002年から新規のシガレット製造プロジェクトは禁止され、既存のシガレット工場の事業規模拡大や、新ブランドの製造は禁止された。
8. ベトナム工業省はシガレット産業のリストラを進めており、2002年6月には非効率で赤字の国営工場22ヶ所を閉鎖した。

[1] 法規制

健康注意表示：

ベトナムで製造される国際ブランドには「ベトナム製」（英語あるいはベトナム語）と、「喫煙は貴方の健康を損なう」（ベトナム語）の表示が必要。

広告規制：

印刷媒体、ラジオ、テレビでの広告禁止。たばこ会社とアルコール飲料会社は販売促進物品に企業名を載せることを禁止。

2002年には広告を全面禁止した。

販売促進：

サンプリングは規制。特定場所での販売禁止。自動販売機禁止。16歳未満の子供、義務教育の生徒への販売禁止。

外国のたばこ会社のスポーツや文化イベントのスポンサー禁止。

喫煙規制：

国内線は禁煙。2.5時間以内のフライトは自主規制。幼稚園、政府建物、病院は禁煙。

ハノイ、ホーチミン市の特定の住宅地を試験的に禁煙エリアにすることを計画中。

その他規制：

国はシガレット製造、販売、広告、マーケティングの一律管理に関して独占権を行使する。

許可を受けている企業が製造するベトナム・ブランドやライセンス製造された外国ブランドの品質がベトナム規格に適合している

ものは、登録商標の認証を許され、法律で許可されていることを包かに表示し、スタンプを貼り販売が認められる。

[規制の動向]

ベトナムは2003年に免税シガレット販売禁止世界協定にわり、世界的に喫煙を減らすために免税シガレット販売を直ちに規制し、将来は禁止する。

また、WHOのたばこ管理枠組み条約へ参加するために2003年2月12日に厚生省が主催した会議で、シガレットを増税することを示唆した。

更に、全国的にたばこの小売りネットワークの管理を強化して、18歳未満の未成年者への違法販売を取締る。

シガレット輸入は一時停止される。現在、既存のシガレット・メーカーは、事業拡大や新ブランド発売を禁止されている。

[2] 税制 政府は国民健康を理由に喫煙抑制を目的として、2002年にたばこ税を66%引き上げた。

物品税	輸入原材料で製造したフィルタ・シガレッ	65%
	国産原材料で製造したフィルタ・シガレッ	45%
	プレシ・シガレット	25%
原材料輸入税	ストリップ原料	30%
	ルーズリーフ	15%
	アセテートトウ	30%
販売税		10%
輸入関税	非ASEAN諸国	100%
	ASEAN諸国	60%

(出典ERC, 2001)

[3] 喫煙者プロフィール

一人当たりの喫煙本数は1995年の1,466本から、1999年には1,025本になっている。
 政府は10年以内に男性の喫煙率を50%から20%へ、女性を4%から2%以下にしようとしている。

成人喫煙者率 (出典 WHO 1997/1998年)

男性	50.70%
女性	3.50%
平均	25.70%

[4] 市場概要

- ・ 観測筋により、ベトナムの市場規模は年間420億本～580億本とまちまちである。
 市場の純売上げ金額は5億ドル、政府所有のたばこ資産価値は5～6億ドルと推定されている。
- ・ 市場の57%はVinatabaが主にバージニア・ブレンドで市場を支配している。
 USDAによれば、ベトナム製外国ブランドのシェアは15から18%。
 残りは省政府等が所有する地方メーカーが製造する80以上のブランドが占めている。
- ・ 外国製シガレットの輸入は正式には許可されていない。
 ベトナム市場は基本的に外国企業には閉鎖されているが、国際ブランドが密輸で国内市場へ流入して来るのを防ぐために、Vinatabaとライセンス契約で市場参入を認めている。
 国際企業は自らシガレット工場をコントロールしたり、製品を輸入することは認められていないが、BAT、Philip Morris、Imperialのような多国籍企業は、Vinatabaや他のベトナム国内のメーカーと提携して市場に参入している。
 2002年から新規のシガレット製造プロジェクトは禁止され、既存のシガレット工場の事業規模拡大や、新ブランドの製造は禁止された。
- ・ ベトナムのシガレット市場は複雑であり、喫煙者の好みは地域ごとに異なっている。
 国は61の省に分かれており、それぞれの地域ごとにベストセラー・ブランドがある。
- ・ たばこ産業にはシガレット製造で1万5千人、葉たばこ栽培で10万人以上が従事している。

シガレットの製造数量等データ (単位100万本)

	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年
製造数量	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
輸入数量	2,000	2,000	2,000	na	na
輸出数量	na	na	na	na	na

[5] 製品プロフィール

- ・ リーディング・ブランドは"Thang Long"、"555"、"Dunhill"、"Marlboro"、"Salem"。
- ・ 国際ブランドのアンダーライセンスはMarlboro、Dunhill、State Express 555の3種類。
 その他に、Craven A、White Horse、Everest、Virginia Gold(BAT/Rothmans)、Fine(Altadis)、Bastos(Tobacco)、Samit and Krongthip(TTM)がアンダーライセンス製造されている。
- ・ シガレットの平均の価格は1包かが1万VND、最低価格帯の製品は600VND (US0.04ドル)、プレミアム・ブランドは国際標準から見れば比較的安く、平均1包か当たり1万VND(0.73USドル)である。
 ボトム・エンドセグメントは600VND(0.04USドル)で販売されている。
- ・ ライセンス製造されている外国ブランドは大部分がプレミアム製品。
 国内市場の約10%のシェアを獲得しているが、非常に強力なマーケティングが行われているにもかかわらず、ハイエンド・シガレットのシェアは4から6%。

税込み20本当たり小売り価格 (出典 EIU, 2002)

国産ブランド	0.64US\$
ライセンス・ブランド	0.69US\$

[6] 小売・流通 (密輸)

1997年には40から50億本のシガレットが密輸されており、これは国内消費の10～15%に相当する。

[7] 企業概要

ベトナムの主力シガレット・メーカーは、連邦政府が所有しているVietnam National Tobacco Corp (Vinataba)。更に、省政府が管理する中小の工場がある。

ベトナム工業省はリストラによりシガレット産業の競争力向上に重点を置いている。

2002年6月に非効率で赤字の国営工場22ヶ所を閉鎖した。

Vinatabaの子会社であるBen Thanhたばこ会社、Khanh Hoaたばこ連合企業は2004年度末までに合理化計画を提出しなければならない。

政府はこの施策により、2005年までにシガレット産業が立ち直ることを望んでいる。

多国籍企業はVinatabaや他の国内メーカーと提携して市場参入している。

これらの提携により、外国企業はアンダーライセンス製造が許可されている。

外国のパートナーは原材料品を供給し、マーケティングを行い、ベトナムの工場で製造している。

しかしVinatabaが政府に対してシガレット製造で外国企業の投資の中止を求めたために、これ以上の合弁事業は禁止されている。

ベトナムは2001年11月以降、外国企業との合弁によるシガレット製造合弁事業の開発をしないことを決定した。

しかし、輸出製造を目的とし、ベトナム側が51%の所有権が得られる場合には許可する方針であると伝えられている。

BAT、Philip Morris、JTIを含む外国たばこ企業は、2003年度終了予定のライセンス製造契約の5年間延長を獲得した。

Vinataba :

国内シガレット市場の57%を占めている。シガレット工場を5工場と原料処理工場を2工場持ち、それぞれの工場は別会社として経営されている。

各シガレット工場はVinatabaのナショナル・ブランドを20種類と、自社ブランドを合計20種類製造している。年間製造本数310億本。Vinatabaは非常に自給自足的であり、フィルタ、チップペーパーを製造し、包かも印刷している。

アルミフォイルの製造も研究中である。経営の多角化も検討しており、食品産業や金融業に進出するかもしれない。

Vinatabaは省政府の助けを借りて葉たばこの生産量を増やすことに重点を置いている。

ドンハイ省の原料処理工場の能力を3倍の年間24,000MTに上げ、北ベトナムには12,000MTの新原料処理工場を作る。

Vinatabaはアメリカたばこ協会とタンホア・シガレット工場でバージニアタイプのシガレット開発する協約を結んでいる。

アメリカとベトナム産の黄色種でシガレットを製造する。VinatabaはBAT Plc以外にPhilip Morris Cosとの2つの合弁事業を行っている。

サイゴン工場 :

Vinatabaの主要工場。年間製造能力は170億本。ハウニの原料加工設備を導入し、巻包部門も5000回転と7000回転の巻上機を据え付けた。

ベンタホ工場 :

567億VNDを投じてホーチミン市工業団地に月産1,100万本のシガレット工場を建設。

ピナサ工場 :

年産6億本の能力を持つ。Golden Eagle、Rave、Djimsamsoeなどのブランドを製造している。

BAT :

BATは外国企業としては首位を走り、12%のシェアを得ている。同社はState Express 555とDunhillをVinatabaを通じて販売している。

BATはベトナムのThang Long、Ha Bac、Sai Gon、Vinh Hoの4ヶ所で大規模シガレット工場を稼働している。BATは1975年までは南ベトナムで強力なプレゼンスを得ていたが、ベトナムがサイゴンに進出して同社のサイゴン工場を接収した。

Vinatabaは1975年に接収した古いBATの設備の多くを今でも使用している。

BATは“State Express 555”を製造するために、より近代的な設備を使用する権利を得るためにベトナム政府に権利金を支払い、かつて所有していた古いサイゴン工場でのこのブランドを製造している。

“State Express 555”は刻をイギリスのサザンプトンから搬入し、材料品を輸入して、サイゴン工場で製造している。

2001年8月にはBATはVinatabaと4,000万ドルで合弁企業(BAT-Vinataba)を設立する許可を政府から得て、ベトナムで長期的に合法的地位を得た唯一の外国企業になった。

これはベトナム国営たばこ会社Vinatabaが関わる初の合弁事業であり、国際基準に合わせてベトナムのたばこ栽培産業を開発することを目的としている。

ホーチミン市南部のDong Nailに原料処理工場を建設する。完成は2003年末の予定。

Imperial (旧Rothmans) :

2001年4月にTobacco社の買収に続き、Imperial Tobaccoは主に“Bastos”の販売でベトナム市場に登場したが、この銘柄はDong Nailにある地元工場と提携して製造・販売されている。

過去3年間で、Imperialはベトナムでシェアを2倍の8%にした。ハノイ工場でDunhillを製造。

その他にVinatabaに属さない地方工場でCraven、White Horse、Everest、7 Diamondsを製造している。

(Imperialは他にカンボジアではLao Tobacco Companyを経営しており、5%のシェアを獲得している)。

JTI (旧RJR) :

VinasaとRJ Reynoldsは1995年にDa Nang工場と合併事業が認められ、約2,100万ドル投資した。RJRは合併事業が認められた最初の外国シガレットメーカーである。

Salem, Gold Coast, Winston, More, Camelなど5銘柄をJTI工場で年間8億本製造している。

VinatabaはこのDa Nang Reynoldsの株の80%を取得し、残り20%は合併事業相手会社の地元のDa Nang Tocacco Corp.が保有している。

Philip Morris :

ビンハオ工場でMarlboroを製造。

メーカー別市場シェア (出典: ERC 2000年)

Vinataba	57%
BAT	12%
Tabaccor(Imperial Tobacco)	4.80%
Philip Morris	1%
その他	25.20%

[8] 葉たばこ概況

政府の方針は国産葉たばこの生産を増やすことに置かれており、西側のたばこ会社と提携あるいは合併で生産を開発しようとしている。

ベトナムで事業を行っている国際的な葉たばこディーラーはDimon Internationalだけである。

ベトナムの葉たばこ開発の困難さは、葉たばこ農家の規模が小さく機械化が難しいために、均一性、品質、収量が良くない。

Vinatabaはシガレットではなくて、葉たばこに対しても外国からの投資を呼びかけているが、ベトナムでの葉たばこ生産に関心を寄せる企業は少ない。

ベトナムのR.J.Reynolds Danang Tobaccoが最近JTに買収された影響は不明であるが、葉たばこ栽培プログラムの管理と財政支援のために農家共同組合を通じて協力している。

これにより、農家は肥料、農薬、灌漑設備を購入できる。

Reynolds-Danang原料処理工場は5,000ヘクタール分の原料を処理できるために、他の地域のスレッシング原料も集める。

Vinatabaは葉たばこ輸出を増強するために、VinatabaとBAT-Vinataba合資会社の間で葉たばこ生産と輸出に関する合意書に署名した。

2002年の輸出合計は700万USドルに達すると期待されている。

これは主に、原料葉たばこパイプ用たばこ原料である。

葉たばこデータ (単位メトリックトン)

	1970年	1980年	1990年	1995年	2000年
生産数量	14,500	25,530	21,827	27,700	27,100
輸入数量	2,755	na	1,400	5,600	27,589
輸出数量	na	na	na	500	1,550

(出典 WHO)

[9] 展望

1997年6月に新しい合併事業は禁止された。その後、ベトナム政府は2006年までにシガレット市場を完全自由化すると約束している。

そのためにベトナム政府は、30以上あるシガレット製造工場をVinatabaの下に統一して合理化した後、民営化を進める計画であると言われている。

ベトナムのシガレット市場に外国投資家はますます関心を寄せている。

Vinatabaの株式の多数を売却するとの発表は、ベトナム政府が市場の自由化を進める意思があることを示している。

BATやPMは大部分のベトナム人は555やMarlboroのようなプレミアム価格を支払う余裕がないことを認めている。

555を買う人は中流階層であるが、21世紀にはプレミアム・セグメントは2倍になると予想されている。